



学校だより

幼稚園・前期課程・後期課程の垣根を超えて！ ～12年間のつながりの根幹は「探究学習」～

前期課程 副校長 寺前 公恵

令和5年度の後期がはじまります。今年度はコロナ禍も落ち着き、様々な行事や校外学習が制限なく行われました。特に、夏休み明け、後期課程の体育祭・文化祭や前期課程の運動会では、当日もさることながら、それまでのプロセスや学びのつながりが子供たちの姿から見る事ができました。後期課程の9年生の演劇の振り返りでは、『3年間の集大成』と言われるほどこれまでの学びを活かす場で、みんなが個人個人の技術や能力を活かしていた」「多くの苦労や葛藤があったが乗り越えられたのはクラスみんなのおかげ」「『学び、次に活かす』とは過去と未来の自分をつなぐこと」「先輩の努力が後輩の努力の源になる」前期課程の6年生の運動会の振り返りでは、「5年生に言っておきたいことがたくさんある」「苦労するけど達成感がある」「社創でリーダー論を追究してきたから何とかなった」ほんの一部ではありますが、それぞれ実感として紡ぎ出された尊い言葉であり、生きていく上での大切な学びが散りばめられています。また、保護者の皆様にも制限なく見ていただくことができました。そのつながりもまた、大変意義深いものとなりました。温かく子供たちのことを見守ってくださり、心より感謝申し上げます。私たちの予想を遥かに超えて成長していく子供たちの姿に、今は頼もしい気持ちでいっぱいです。

さて、こうした行事や社会創生プロジェクトを含む各教科の活動において、今年度は幼稚園・前期課程・後期課程の交流活動や合同授業が頻繁に行われています。その中で、意識的に挑戦しているのが「3-4-5制」(幼稚園の3年間・1～4年生・5～9年生)の導入です。それぞれ、「Sprouting Stage」「Growing Stage」「Blooming Stage」と名づけ、ステージ同士の接続も大切にしています(下図参照)。12年間のつながりの根幹は「探究学習」です。幼稚園3年間の身近な動植物や人やもの等との関わりから生まれる「自分のすきなものへの思いや好奇心」が、低学年の教科の学びや社会創生プロジェクトでの姿につながっていくというものです。また、前期課程の6年間の中で陰に隠れてしまう4年生をリーダーとした活動を行っています。そして、5年生以上での前期課程・後期課程乗り入れ授業も4月から再開し、交流活動も行われています。こうした姿は、裏面に掲載しましたので、ご覧ください。

今年度も折り返しとなりましたが、引き続き、私たち教職員は、「子供の育ち」を第一に考え、12年間のつながりを大切に研鑽を積んでいきたいと思っております。

附属幼稚園	義務教育学校 前期課程	義務教育学校 後期課程
3歳児 4歳児 5歳児	1年生 2年生 3年生 4年生	5年生 6年生 7年生 8年生 9年生
Sprouting Stage 「芽吹く」	Growing Stage 「成長する」	Blooming Stage 「咲き誇る」

〈附属幼稚園・附属義務教育学校の子供たちがつながる様子〉



【後期課程の体育祭に参加する6年生】



【後期課程の体育祭で応援する園児】



【前期課程の綱引きに参加する園児】



【4年生が1～3年に応援を教える様子】



【後期課程の文化祭(8年生の社創ブース)に参加する1～4年生】



【9年生の演劇を鑑賞する5年生】



【5年生が演劇の感想を9年生に渡す様子】



【後期課程の体育祭・文化祭に参加した児童の感想より】

- ・後期課程の先輩は、ハプニングがあっても動じず、臨機応変に対応しているのですごいなあと思った。あんなふうになりたいと思った。(6年生)
- ・体育祭に参加して、早く後期課程に行きたいと思った。(6年生)
- ・9年生の演劇はすごく感動した。泣きそうになった。(5年生)
- ・9年生の劇を見て、一人一人が一生懸命取り組んでいて、協力していて、あとしまつのはやさもよかった。自分も4年後の文化祭には、9年生のように行動したい。(5年生)
- ・9年生の演劇のパンフレットがとても凝っていてよかった。音楽とセリフもぴったり合っていた。脚本もよかった。私も、そんな本が書けるようになりたい。(5年生)
- ・劇のストーリーがよく、素晴らしい演技で、お話もしっかりわかった。最後の方で、大泣きしてしまった。ぼくも、9年生になったら、みんなと協力して劇をやってみたい。(5年生)

